



### シモン・ドータン Shimon Dotan

映画監督・作家。フィクションやドキュメンタリーなど、クリエイティブ・パートナーであるネタヤ・アンバーと共に数多くの作品を手がける。ニューヨーク大学ジャーナリズム研究科で教鞭を執る。ルーマニア生まれ、イスラエル育ち。現在はニューヨークを拠点に活動している。彼らの作品は、ニューヨーク FF、ベルリン、シカゴ、サンダンス、モントリオール、トロント、エルサレム、メルボルンなど、複数の映画祭で上映され、賞を獲得している。



### ネタヤ・アンバー Netaya Anbar

映画監督・作家。ニューヨーク大学ジャーナリズム研究科で教鞭を執る。モントリオールで生まれ、カリフォルニア、メキシコ、イスラエルで育つ。シカゴ美術館で美術を学び、ロンドン国際映画学校で映画制作の修士号を取得。1992年、パートナーのシモン・ドータンとともにカナダのモントリオールに Cinequest Films を設立、複数の長編映画の製作と編集を手がける。現在はニューヨークを拠点に活動。



### マルクス・ガブリエル Markus Gabriel

ボン大学哲学科教授／The New Institute アカデミック・ディレクター。ボン大学で認識論および近現代哲学について教鞭を執る。Center for Science and Thought ディレクター、International Centre for Philosophy NRW 会長を兼任。他にも、数多くのフェローシップ、客員教授を務める。受賞歴多数。多くの著書が諸言語に翻訳されている（邦訳書多数）。

### 日比野克彦 Katsuhiko Hibino

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学美術研究科大学院修了。1982年第3回日本グラフィック展大賞、1983年第30回ADC賞最高賞、1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレ出品。1999年毎日デザイン賞グランプリ、2015年文化庁芸術選奨芸術振興部門 文部科学大臣賞受賞。2007年より東京藝術大学教授。2022年4月より東京藝術大学長に就任。他の主な要職として、岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員長を務める。



### 藤井輝夫 Teruo Fujii

1993年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了・博士（工学）、同生産技術研究所や理化学研究所での勤務を経て、2007年東京大学生産技術研究所教授、2015年同所長。2018年東京大学大学執行役・副学長、2019年同理事・副学長（財務、社会連携・産学官協創担当）を務め、2021年より同総長に就任（現在に至る）。その他、2005年から2007年まで文部科学省参与、2007年から2014年まで日仏国際共同研究ラボ（LIMMS）の共同ディレクター、2017年から2019年までCBMS（Chemical and Biological Microsystems Society）会長、2021年より総合科学技術・イノベーション会議議員（非常勤）。専門分野は応用マイクロ流体システム、海中工学。



### 中島隆博 Takahiro Nakajima

東京大学法学部卒業、東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専攻博士課程中途退学。研究分野は中国哲学、世界哲学。東京大学大学院総合文化研究科の准教授、東洋文化研究所の准教授（2012年10月）を経て、2014年4月より同教授。現在、東京大学東洋文化研究所所長／同東アジア藝文書院学術顧問。主な編著書に『中国哲学史——諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで』（中公新書、2022年）、『世界哲学史』（全8巻+別巻、ちくま新書、2020年）、『全体主義の克服』（集英社、2020年、マルクス・ガブリエルと共著）など。

